

人口		昭和40年(4月末)	昭和45年(4月末)	昭和50年(4月末)
人口		2,885人	2,359人	2,076人
男		2,950人	2,356人	2,131人
女		5,835人	4,715人	4,207人
世帯数		1,274世帯	1,187世帯	1,106世帯

〔4月中届出分〕 転入した人 27人 転出した人 41人 (前月比19人減)

松川町報

- およろこび 四人
 中野 植木 和彦ちゃん
 小 藪 滝本 順子ちゃん
 下鹿野川 和氣 千夏ちゃん
 〃 〃 岩田 正己ちゃん
 おくやみ 九人
 京造 富永 荒市さん
 月野尾 柴田運次郎(79才)
 下敷水 寺尾 杉枝さん(79才)
 小 藪 土居ツタ子さん(61才)
 爪生谷 水野キヨノさん(70才)
 森 兵頭 寅恵さん(73才)
 協生 村上 正成さん(70才)
 廣常 谷田利三郎さん(77才)
 町 川崎 清政さん(84才)

農業青年は考える

表1 アンケート回答者の属性

事項	年齢		性別		職業		学歴		就職のため1年以上松川町に経験ありなし	計
	~18才	19才~22才	男	女	農林	非農林	中卒、大卒	高卒、その他		
在住青年	4.5%	29.6%	74.0%	26.0%	21.4%	79.6%				100.0%
回答青年	5.3%	25.0%	76.2%	23.7%	60.5%	39.5%	30.3%	56.6%	54.7%	100.1%
	48.7%	21.0%					6.6%	2.6%	2.7%	76

註 大卒は短大卒も含む。

農林業の情熱あつく 生きる方向を模索

経済の大きな成長は、松川町に過疎現象を起し、産業間の所得格差や農林業後継者問題など農政に大きな課題を与えています。こうした中で、現在住んでいる松川町の若い農業青年は、どんな意識や要求をもっているか、その対策はどうすべきか。山村振興調査会診断の結果をもとに農林業青年について考えてみたいと思います。方法は、※県や町の資料による調査。※調査紙による在住青年の職業および生活の実態と意識調査。※青年との座談会および農家訪問。

農林業意識と問題点

調査は中学卒業から三〇才までの、(学生は除外)、在住青年とし、農林青年四五人、非農林青年八九人計一三四人(在住青年の六四%)を抽出、回答を依頼しました。その結果、七六人の回答(回収率五六・七%)を得てその属性は表1の通りです。

農林業に従事する青年は減少の傾向にあり、そのうち、表2の通り、農林業への就業意識が低い状態にあり、希望の職業に就くことができないという声が多く聞かれます。また、農林業への就業意識が低い理由として、収入が低いこと、労働がきついこと、将来の不安定さなどが挙げられています。一方で、農林業が好きだから、収入が少なくていいから、という声も聞かれます。

就業継続の意志は

表3 在住青年の就業継続意志

	農林青年	非農林青年	全体
これからずっと喜んで	10(47.6)	24(43.6)	34(44.7)
仕方がないので	6(28.6)	5(9.1)	11(14.7)
どちらでもよい	2(9.5)	14(25.5)	16(21.1)
機会があれば転職を	2(9.5)	2(3.6)	4(5.3)
今すぐでも転職を	0	3(5.5)	3(3.9)
不明およびその他	1(4.8)	7(12.8)	8(10.4)
計	21(100.0)	55(100.0)	76(100.0)

表2 就業動機の種類

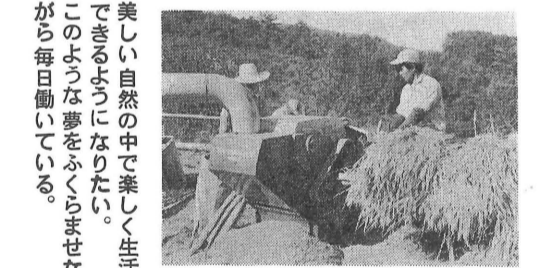
	農林青年	非農林青年
25%以上	・農業が好きだから (28.6)	・農業では安定しにくいと思ったので (29.1)
20%以上	・家の後継ぎをしようと思いい喜んで (23.8)	・農業では収入が少ないので (21.8) ・ほかの職についてみるのも人生勉強、社会勉強だと思ったので (21.8) ・農業以外の何かの職や技術を身につけておきたいと思ったので (20.0)
15%以上	・農業が自分にむいていると思ったので (19.0) ・後継ぎのため仕方なく (19.0) ・親やまわりの人に進められて (19.0)	・農地が狭かったので (18.2) ・農業のやり方をあまり知らなかった (16.4)
10%以上	・農業は気楽な職業だから (14.3)	・毎月きまった現金収入がほしかった (14.5) ・農業は自分に向いていないと思ったので (12.7) ・まわりの人から、ほかの職につくようすすめられて (12.7) ・ほかの職の方に魅力があった (12.7) ・家の農業の後継ぎでなかった (10.9) ・別に理由や動機はない (10.9) ・たまたまよい就職口があった (10.9)
5%以上	・安定すると思ったので (9.5) ・食うだけは困らない (9.5) ・農家に生まれた宿命だから (9.5) ・特別な理由はない (9.5)	・家が農家でなかった (9.1)
5%未満	・ほかに適当な職がなかった (4.8) ・農作業が大変つらい (4.8) ・農業がきらいだ (4.8) ・友だちがほかに就職するので (1.8) ・嫁のきかないから (1.8) ・体力や健康に自信がない (1.8)	

注 () は%を表す。

指導機関のあり方

今後、農林業後継者に対する指導機関のあり方について、青年の意見を集めました。多くの青年が、農林業への就業意識が低い理由として、収入が低いこと、労働がきついこと、将来の不安定さなどを挙げています。また、農林業への就業意識が低い理由として、収入が低いこと、労働がきついこと、将来の不安定さなどが挙げられています。一方で、農林業が好きだから、収入が少なくていいから、という声も聞かれます。

農林業では収入が少ない、農業以外の何かの職や技術を身につけておきたい、といった声が多く聞かれます。また、農林業への就業意識が低い理由として、収入が低いこと、労働がきついこと、将来の不安定さなどが挙げられています。一方で、農林業が好きだから、収入が少なくていいから、という声も聞かれます。



美しい自然の中で楽しく生活できるようなりたい。

美しい自然の中で楽しく生活できるようなりたい。このような夢をふくらませながら毎日働いている。

農協、森林組合に対しては、組合員のための組合に。農協、森林組合に対しては、組合員のための組合に。農協、森林組合に対しては、組合員のための組合に。

- 妊婦健康相談
とき 六月十一日 十三時—十五時
ところ 松川町公民館 (生活福祉課)
- 乳児健康相談
とき 六月十九日 十三時—十五時
ところ 松川町公民館 (生活福祉課)
- 胃ガン検診の申込み
三十五才以上の人で胃ガン検診を受けたい人は、五月二十七日まで各部落長へ申込んで下さい。料金二五〇〇円 (生活福祉課)
- 銃砲の検査実施
銃砲のいっせい検査を次により実施いたします。銃砲所持者は必ず検査を受けて下さい。
日時 六月三日(火) 午後二時から午後四時まで
場所 松川町公民館 (公安委員会)
- 赤十字運動にご協力
日本赤十字社は、世界の国々と共に、災害救助や福祉保健など幅広い活動を行っております。五月はその赤十字の運動期間です。この活動は、人間愛に燃える人達が社員となって納める社費と一般募金によってまかなわれています。未加入の家庭はできるだけ加入され、また募金についても各部落よりしくご協力をお願いいたします。(生活福祉課)

時間を大切にしよう。

花を植えよう。

大切に「運動」六月の目標

経営上の悩み

表4 農林業経営上の悩み

	農林青年	第二種兼業青年	全体
農林産物価格の不安定	13(30.9)	16(26.7)	29(28.4)
農林地が狭いこと	8(19.0)	11(18.3)	19(18.6)
農林業の将来性、見通し	8(19.0)	10(16.7)	18(17.6)
農林業についての知識、技術の不足	5(11.9)	5(8.3)	10(9.8)
人手不足、労働過重	1(2.3)	6(10.0)	7(6.9)
収入をふやせたいこと	2(9.5)	4(6.7)	6(5.9)
経営資金の不足	3(7.1)	1(1.7)	4(3.9)
天災をうけやすい	1(2.3)	3(5.0)	4(3.9)
経営方針が立たない	1(2.3)	1(1.7)	2(1.9)
休養・娯楽の時間がない	0	3(5.0)	3(2.9)
計	42(100.0)	60(100.0)	102(100.0)

注 各人に2つずつ選ばせた結果である。

議長に堀川氏、副議長に植木氏 臨時町議会開く

改選後、最初の町議会が去る七日開かれ、次のよう議会の構成および収入役の選任が行われました。

議長 堀川 史朗
副議長 植木 武雄
常任委員会 (◎印は委員長○印は副委員長)

総務委員会
◎岩田 恒太郎 ○久保田 仁之
岡村 利三 神井 恵一郎
西田 盛夫 堀川 史朗
文教厚生委員会
◎福山 義一 ○村田 英夫
収入役 (任期満了による)
尾下 林太郎

産業委員会
◎山口 清政 ○西宮 実
松本 藤寿 植木 武雄
沖野 常一

庁舎建設特別委員会
◎植木 武雄 ○西宮 実
岩田 恒太郎 福山 義一
山口 清政 和氣 不二夫

監査委員
岡村 利三



アツ危い!! あなたの ボクちゃん今どこに……

子どもが水遊びをするシーズンとなりました。小さい子どもは、水のおそろしさを知りません。親はもちろん、周囲のみんなが注意して子どもを水の事故から守りましょう。

カギをかけていなかったとき被害にあっています。屋外のドロボーは、自転車や自動車の被害が半分を占めます。そのほとんどがカギのかけ忘れによるものです。

空巣、自転車盗難などを防ぐには、まずカギをかけることが第一です。これがあなたの財産を守る「カギ」です。(大洲警察署 堀川派出所)

空巣 自転車の盗難を防ぐには

農繁期には外出する機会が多く、空巣自転車盗難などの被害が増加する季節です。

空巣、自転車盗難などを防ぐには、まずカギをかけることが第一です。これがあなたの財産を守る「カギ」です。(大洲警察署 堀川派出所)

ここにちは赤ちゃん

生後10か月半、まるまると気持よく肥って、身長、体重ともにお誕生過ぎの体格です。

市のお母様、橋本英機さん(長男(第二子))

満二才のお姉ちゃんといく遊ぶようになり、お姉ちゃんがいまいとどおもしろそうなんです。お母さんは大勢の兄弟の中で育てられた自分ではよくやったと思っています。句のお祝いでした。

お母さんの健康状態にあわせてお二人でよく話せて丈夫な赤ちゃんをお父さんが望まれるくらいは育ててほしいものです。

五月は孝博ちゃんの初節句のお祝いでした。

お庭には空高く二尾の鯉が孝博ちゃんの遅く成長するようご両親の願いをこめて強く縦横におよいいでました。

(和田保健婦)

歯をみがこう

母乳がなく人工栄養ですが、現在離乳食三回、ミルクが一日二回から三回、おやつがわりでごはんが主食です。下の前歯二本で上手に何さへは一人か二人くらいと

お父さんもあと二、三人はほしいということ。お母

行政相談員に横田方之さん

— お気軽にご相談を —

行政管理の横田方之さん、四月から一日付で行政相談員に委嘱された。機械、電機、鉄道の各専門業務の相談など、幅広い相談を受ける。お出向の際は、お気軽にご相談ください。

インタビュー 中津 畑山利夫さん

昭和三十八年、出かせぎのとき、東京に重量組立作業員として出た。昭和四十五年、中津地区の農業構造改善事業の世話役だった父が急逝し、そのごころは都内の生活に帰郷する考えは全くなかった。

「当初は、植付、施肥、中耕など病弱の母の小さい応援を受けながらの生長に期待をかけてきた。ようやく三年目から少しずつ掃立が増え、生産量もあがり、養蚕経営の先の見通しが立ち始めた。」

大きく生長した桑を横目に彼はその苦労をこう述懐する。やと彼のまわりにも、あたたかい日がさしはじめられた。

「中津という悪い条件を知り、そして農業を理解して人ならだれでもきてほしい、嫁さんにならなくても、男女を問わず共に働くがほしい。」

中津には、彼にとって本当に底から話し合える友だちはいない。かつて小学時

ふるさとをいつまでも大切に マユは一トシ生産を目標

昭和四十八年、畑川町長による養蚕振興奨励賞を受賞。昭和四十九年、生産量九八九結で町一番のマユ生産家となる。

「嫁がなくなっても……。それでもいいじゃないか。俺の人生だとあきらめて温情な中津の人たちと共に酒を飲み、老いも若きも同僚として励まし合っている。」

「温」と「和」を感じさせよう。昔、峠の茶屋として栄えたムネトウは、今つやつとした桑の葉でなおわれている。彼が大切にしたいというふるさと中津は、夏のはじまりである。昭和十五年生まれ。三十五才。母ナミ子さんと二人暮らし。(宮田委員)

一口医学 歯ぐきのカイヨウは 要注意

歯ぐきの炎症は、歯と歯ぐきの間に細菌が入り込むことによる。歯ぐきが腫れる、出血する、口臭がきつくなるなどの症状があらわれる。歯ぐきの健康を保つためには、歯をきれいに磨き、歯ぐきをマッサージすることが重要。

泰平一家

お母さん、この家のために一生懸命。お父さん、家のことを考え、お母さんを支える。子供たち、お母さんの話を聞いて、お母さんへの感謝をこめて伝える。

プロパンガスメーター 取付けについて

みなさんの家庭で広く使用されているプロパンガスは、法律により消費者の安全を守るため、細かい事項が定められています。ガスメーターの取付けは、業者が行う必要があります。

50 予算 普通建設事業

この表は昭和三五年度と今年度の普通建設事業の伸びを示しています。今年度は約一・三五倍の伸びが見込まれています。

年度	普通建設事業の伸び (%)	総予算の伸び (%)
35年度	122万円 (257%)	48万円 (100%)
40年度	146万円 (740%)	40万円 (202%)
45年度	271万円 (1,375%)	298万円 (627%)
今年度 (見込み)	662万円 (1,393%)	489万円 (100%)

普通建設事業

内容は、三五年度は、建設費を除いた土木などの事業に重点が置かれていたこと。今年度は、道路、橋、下水道、公共施設など、幅広い分野での事業が中心となります。

昭和四十八年、畑川町長による養蚕振興奨励賞受賞。昭和四十九年、生産量九八九結で町一番のマユ生産家となる。中津には、彼にとって本当に底から話し合える友だちはいない。かつて小学時